# 怒尾通信

2021年第1号



【窓のお悩み相談所 窓屋】 岡山市北区西長瀬 1203-1 **公:**086-241-6251



明けましておめでとうございます 皆様の「困った」に寄り添えますよう 一同頑張ってまいります 本年も窓屋をどうぞ宜しくお願い申し上げます





社長 妹尾 隆弘

今年はコロナウイルスとの共存の年になりそうです。昨年の夏以降は皆様在宅時間が長かったせいか、多くの問合わせを頂きました。私たちは最大限の感染予防対策をしながらお客様の暮らしを快適なものに出来る様に頑張ってきました。

これからワクチンや特効薬の開発に期待したいと思います。夏には終息 し延期になった東京オリンピックが開催され観戦できることを願います。 個人的には四回目の年男になります。昨年から通いはじめたジムで筋カ トレーニングを頑張って健康な身体を手に入れたいと思います。

この正月初めておせち料理を購入しました。ホテルのレストランシェフが作る和洋折衷の三段重!少し贅沢を新年早々味わいました。今年は初めて挑戦といった事を窓屋でも色々と出来るいい年にしたいと思います。



マネージャー 荒木 裕行

昨年子供が生まれ、日々の成長を楽しんでいます。更に今年は目標だったマイホームも完成予定で楽しみが多い年となりそうです(^-^)仕事も充実した1年になるよう、皆さんのお悩みを解決させていただきます。



リーダー 道仙 聡





工事責任者 宮永 要

昨年、娘が小学生になりました。息子は1歳になります。娘は一段とお姉ちゃんになり、家の手伝いや弟の面倒もよく見てくれて助かっています。今年もコロナに負けず、我が家は健康第一で頑張りたいと思います。



アドバイザ-香本 昌輝

新しい年も仕事とプライベート共に充実したものにすべく全身全霊で頑張ります。窓屋として、より良い商品をお客様へお届けできるよう、しっかりとしたヒヤリングを行い最適な商品選択を心がけて参ります。



昨年はウォーキングと食べすぎを控える事で増えた体重を何とか戻すことに成功。今年は食事の内容にも気を 遣いながら健康を維持したいと思います。運動不足なので、家で出来る 筋トレから習慣にしたいです。



アドバイザー 難波 愛子 (旧姓:大河内)

2年越しのマイホームが、ついに今年の春に完成します。また、子供の保育園の制服が変わるという楽しみも待っています★プライベートだけでなく、仕事も充実したものになるように頑張りたいと思います。



事務 永山 紀子

# 日本の節句・行事文化小話 [冬編]



#### 羽子板・破魔弓:12月中旬頃~

羽子板は女の子の赤ちゃんの無病息災のお守りの意味を持っています。男の子は破魔弓、 読んで字のごとく魔除け・厄払いのお守りです。同じようなものに神社の破魔弓や、上棟 の際に屋根に立てる破魔弓があります。これらはいずれも弓矢の持つ魔除けの力を信じる 事から生まれた習慣です。飾る時期は12月13日の「正月事始め」の日や、12月の大安 などの良日から小正月(1月15日)過ぎまでが一般的ですが、縁起物ですので一年中飾 っていても構わないようです。



#### 人日の節句:1月7日

七草粥を食べる風習は今でも残っていますね。古代中国では、正月1日に鶏、2日に犬、3日に羊、4日に猪、5日に牛、6日に馬、7日に人、8日に穀を占う習慣がありました。その日が晴天ならば吉、雨天ならば凶の兆しであるとされていて、7日の人の日には邪気を祓うために七草の若菜を入れた粥を食べ、一年の無病息災を祈ったのだとも言われています。



#### とんど焼き:1月15日

とんど焼きとは、小正月(1月15日)に行う火祭り行事です。書初めを燃やしたりしませんでしたか?満月と神聖な火による浄化の力で、集落の人々の1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願うのが「とんど焼き」です。



#### 桃の節句:3月3日

ご存知の通り、女の子の健やかな成長を願う節句です。一度は耳にしたことがある「節句が終わったら早く雛人形を片づけないとお嫁に行くのが遅くなる」という俗説。特に根拠のない言い伝えですが、「きちんと片づけなさい」と言う教えかもしれませんね。『雨水(うすい)の日』に飾ると良縁に恵まれると言われています。



※「雨水の日」…立春から数えて15日目頃。2021年の立春は2月3日(水)です。



テーマパークがあ「世界の窓」という中国には

## 小話おまける

News from MADO around the world

China



中国には、世界の名所をミニチュアで再現 した「世界の窓」という名前のテーマパークが あります。なるほど、世界を眺望するイメージが 膨らむネーミングです。

「目は心の窓」と言ったのは古代ギリシャの 哲学者プラトン。目がその人自身を物語るという例えて、心の窓と表現しました。このように 「窓」という言葉には、内から外へ視野や心情 が広がるイメージが万国共通であるようです。



ちなみに、日本では俗にズボンのファスナーを「社会の窓」と言ったいしますが、これはその 昔あった「社会の窓」というラジオ番組に由来 するそうです。社会問題について深く知るため の情報番組だったことから「社会の窓」。一種 の流行語だったと思われますが、ファスナーは しっかり開めておいたほうがいいですね。

# 窓屋ニュース

### RSK 放送

#### 情報ワイドあれスタ

に、窓屋スタッフが出演 しています!

次回は2月に出演予定



です**★** お楽しみ に!!